

コーパスに基づく言語学教育研究報告 1

コーパスを用いた 言語研究の可能性

富盛 伸夫、峰岸 真琴、川口 裕司(編)



CbLLE
Corpus-based Linguistics
and Language Education

2009

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS) 大学院地域文化研究科

コーパスに基づく言語学教育研究報告 1

コーパスを用いた 言語研究の可能性

富盛 伸夫、峰岸 真琴、川口 裕司(編)



CbLLE
Corpus-based Linguistics
and Language Education

2009

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS) 大学院地域文化研究科

目次

学長挨拶	亀山 郁夫	i
コーパスに基づく言語学教育研究拠点	峰岸 真琴	v

1. 論文

可能性の意味を含む名詞と語結合を成す不定詞の 体のカテゴリーに関する一考察	阿出川 修嘉	1
日本語の複文における出来事間の意味的關係 —従属節述語が移動動詞のテ形の場合—	李 善姫	25
語結合パターンの頻度分析の試み — <i>anfangen</i> と <i>beginnen</i> を例に—	カン ミンギョン	49
新聞記事にみられる因果関係の複文 —「から」、「ので」、「ため(に)」を中心に—	高 秀辰	77
現代日本語の事態描写に関する動詞連用形・ サ変動詞語幹の名詞用法について —連体修飾句と複合語の形態分析—	佐藤 佑	103
モンゴル語の終助詞の承接順序について —コーパスに基づく記述的研究—	ジン ガン	129
「してみせる」の意味・用法について —「してみせる」の形をとる動詞の 語彙的な意味との関わりを中心に—	ソン ジヒョン	149
話し言葉の表現としてのラ抜き言葉に関する研究概観	張 麗	173
動詞「くる」と「いく」の多義構造の違いについて	中山 健一	191
『初級日本語』に導入されている形容詞の分析 —語彙教育の観点から—	福原 聡美	219
『元朝秘史』モンゴル語 音節末子音の漢字表記に関する考察	ムンフダライ	249

2. 研究ノート

日本語のオノマトペ に後続する助詞について —「と」および「に」をめぐって—	黄 慧	267
ジャワ語の敬語における丁寧/非丁寧 (Kromo/Ngoko) 語彙の対立について —中期ジャワ語の資料を用いた分析—	スリ ブディ レスタリ	287
日本語会話のスピーチレベルを扱う研究の概観	宮武 かおり	305
索引		323
資料		
国際会議・ワークショップ		325
講演会		330
研究会		334
合同ゼミ		339
出版物		341

1. 論 文

2. 研究ノート

資 料



コーパスに基づく言語学教育研究報告 1 2009年3月12日発行

コーパスを用いた言語研究の可能性

発行：東京外国語大学大学院 地域文化研究科

グローバル COE プログラム

「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

編集 集：富盛伸夫，峰岸真琴，川口裕司

編集・校正：堀江由希子，高 京美

印刷：三鈴印刷株式会社

コーパスに基づく言語学教育研究報告 1

コーパスを用いた言語研究の可能性

富盛 伸夫、峰岸 真琴、川口 裕司(編)

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS) 大学院地域文化研究科